

# U.S. Indicators

## 米国 設備投資の脆弱さを示唆（16年4月耐久財受注）

2016年4月27日（金）

～耐久財全体もモメンタムは弱いまま～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	出荷				耐久財受注				在庫			
	除く輸送機器		非国防資本財 除く航空機		除く輸送機器		非国防資本財 除く航空機		除く輸送機器		非国防資本財 除く航空機	
15/11	+0.9	▲0.3	(▲2.2)	▲1.0	▲0.9	▲1.2	(▲1.6)	▲0.3	▲0.4	▲0.2	▲0.1	
15/12	▲2.2	▲0.2	(▲3.7)	▲0.2	▲3.9	▲0.5	(▲3.2)	▲4.1	+0.3	▲0.1	+0.3	
16/01	+1.6	▲0.1	(▲1.9)	▲1.5	+3.7	+1.5	(▲0.6)	+2.4	▲0.3	▲0.6	▲0.6	
16/02	▲0.8	▲0.8	(▲2.6)	▲1.6	▲3.3	▲1.5	(▲1.4)	▲2.1	▲0.3	▲0.4	▲0.4	
16/03	▲0.8	+0.1	(▲2.9)	▲0.3	+1.9	+0.1	(▲2.1)	▲0.1	▲0.2	▲0.1	+0.1	
16/04	+0.6	+0.3	(▲1.9)	+0.3	+3.4	+0.4	(▲1.4)	▲0.8	▲0.2	▲0.2	▲0.3	

**4月の耐久財受注は前月比+3.4%、除く輸送機器が同+0.4%と加速**

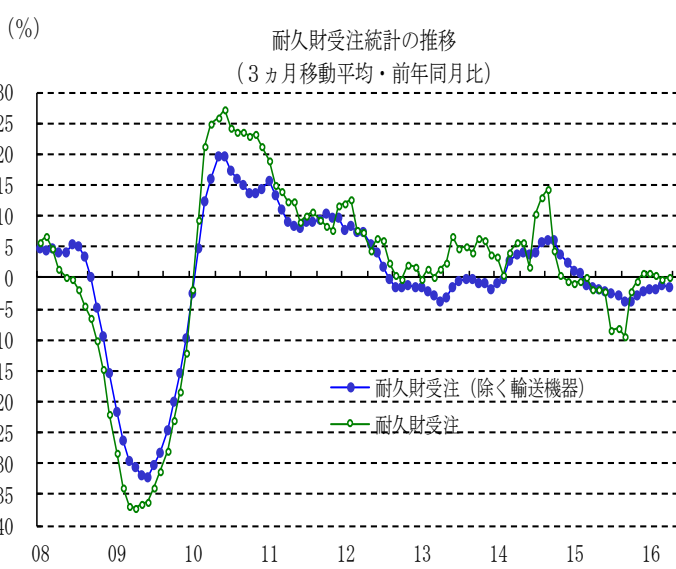
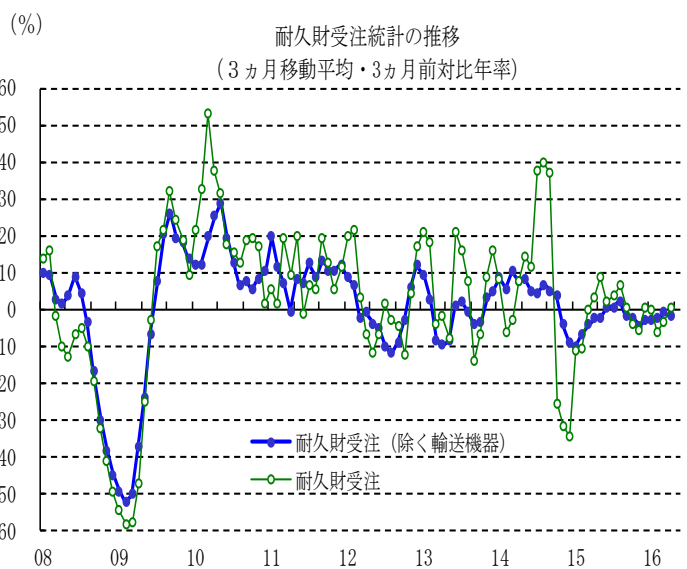
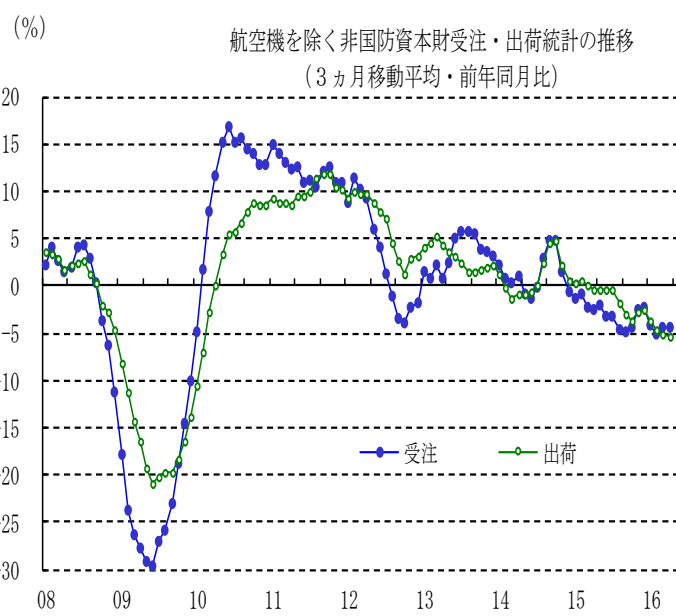
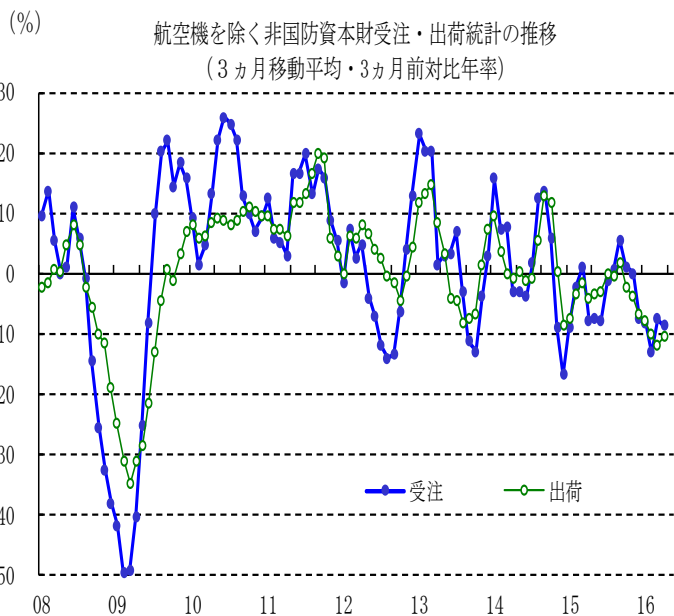
4月の耐久財受注は、前月比+3.4%（前月同+1.9%）と加速し、市場予想の同+0.5%を上回った。一般機械が減少幅を拡大したほか、一次金属が前月比0.0%に鈍化した一方で、加工金属、電子機器関連が増加に転じ、コンピューター関連、輸送機器が加速した。また、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注も、前月比+0.4%（前月同+0.1%）と増加幅を拡大した。

もともと、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、価格、数量の両面からの押し下げ圧力を受け、4月の耐久財受注が▲8.7%（前月▲7.6%）、輸送機器を除く耐久財受注が▲3.1%（前月▲3.3%）とともにマイナスとなっており、耐久財受注の基調は悪化したままである。自動車、コンピューター関連が拡大しているが、ドル高や資源価格下落、世界的な需要鈍化の影響を受け、一般機械、一次金属、加工金属、電子機器は低迷を続けている。

**4月の非国防資本財は出荷が前月比+0.3%と増加に転じたが、受注が同▲0.8%と減少幅を拡大した**

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が4月に前月比+0.3%と市場予想の同+0.1%を上回った。また、四半期でみても4月は1-3月期対比年率▲1.7%と1-3月期の前期比年率▲12.0%からマイナス幅を縮小しており、改善の兆しにみえる。しかし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、▲10.6%（前月▲12.0%）と大幅な減少を続けているほか、機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、4月に前月比▲0.8%（前月同▲0.1%）と市場予想の同+0.3%に反して減少幅を拡大した。また、1-3月期対比年率▲6.2%（1-3月期の前期比年率▲7.6%）と大幅な減少となっている。さらに、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では▲8.7%（前月▲7.6%）とマイナス幅を拡大しており、基調はより悪化している。機械設備投資が4-6月期も減少を続けていることを示唆している。以上より、16年前半の機械設備投資は、ドル高、原油価格の下落、弱い海外需要など、価格と数量の両面から押し下げ圧力を受け、低迷を続けると見込まれる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。